

議会報告会・意見交換会報告書

開催日時	令和5年8月6日（日）午後1時30分 終了：午後2時30分	
開催場所	鶴来公民館（鶴来支所）3階 第5会議室	
対象団体	白山市女性協議会	
参加人数	6人	
班構成	B班	木谷和栄、田代敬子、村本一則、藤田政樹 (欠席：中野 進、小川義昭、宮岸美苗)
役割分担	司会・挨拶：藤田政樹	

意見交換会テーマ：「女性協議会の現状と在り方」

行政に期待すること

（意見1）

白山市女性協議会という大きい団体としては活動しにくいこともあり、所属する各地域の下部団体に補助金を割り振って活動している。一協議会への補助金としては金額が多いと思われるかもしれないが、その辺りを理解していただいて、今後も補助金は減らさないでほしい。

（意見2）

女性や壮年などの枠組みを超えた組織があってもいい。現状、例えば女性協議会に男性が同数いたら補助金の対象にならない。男性・女性で区別するのは考えが古いので、そういう枠組みを変えていってほしい。

（意見3）

コミュニティセンターを整備する際は、支所やサービスセンターの中に整備するのではなく、単独の施設にしてほしい。

その他

○女性協議会の現状

（市全体の現状）

白山市女性協議会に加入する団体が減少し続け、県内でも人口・面積の割に会員数が少ない。（能美市・加賀市のほうが会員数は多い。）合併と同時に脱退する団体が多かった。加入団体や会員が増えて活発になるにはどうしたらよいか。

（松任地域の現状）

38町会あるが、町会単位での婦人会（女性会）に加入しているのは2町会ほどしかない。あとは個人会員として加入してもらっている。町会単位等にこだわっていると、女性が集まることはなくなる。

(美川地域の現状)

美川・蝶屋・湊の3地区で「美川婦人会」としてやっていたが、蝶屋が抜け、今年湊地区が抜け、現在は68名ほどしかいない。役員になると負担がすごく大きく、役員が回って来る前の年に辞める傾向にある。若い人にも加入してもらいやすいよう、名称を「婦人会」から「女性会」に変更したが、会員数はなかなか増えない。

(鶴来地域の現状)

鶴来女性の会は、会員数は維持しているものの会員の年齢は高齢化している。

(白山ろく地域の現状)

人口減少はもとより、50歳になったら辞めてもいいという慣習ばかりが引き継がれ、会員は減るばかり。老人会にも入らず、女性の会にも入らずという、会に属するのが煩わしいと思う人が増えている。

(その他意見1)

かつては結婚したら婦人会に入るものだと思っていたが、これだけ女性が仕事に出るようになると職場での交友関係のほうが大切で、婦人会は煩わしいだけなのでは。

(その他意見2)

先輩(高齢)会員の都合もあり、会合等が平日の日中に開催されることが多い。仕事を休んでまで婦人会の会合や行事には出席できないため、どんどん辞めていったのでは。

(議会の意見1)

市の方針はコミュニティ化していくことにより、いろいろなことをそれぞれの地域(公民館)が行い、それを市が支援するような体制になりつつある。女性が地域に興味がないのかというとそうではなく、コミュニティ化の説明会等では、女性から意見がたくさん出てくるが、役員になる人がいない。(議員になる人もいない。)使命感を持ってやっていくという人がいない。視点を変えていくべきなのかなと思う。

(議会の意見2)

若い人が何もしていないかということ、そうではない。女性協議会、婦人会というのは、会費を払って、また市から補助金をもらって、総会を開いて収支決算をして、というようなことをやっているが、今の若い人たちはSNSで声を掛けて、その都度参加費を徴収するようなやり方でやっている。会員だけで閉じられた中で活動するのではなく、いろいろな人とつながっている。女性協議会の在り方も変えていく必要があるのかもしれない。

○コミュニティセンターと女性協議会の関わり

(議会の意見)

コミュニティセンター化に伴い、コミュニティセンターの中に女性や老人、子供の活動の場、いろいろな組織が所属することになる。また、公民館がなくなるわけではなく、センターの一部に生涯学習機能を持った公民館が存在することになる。

その中に女性の会をつくるかつくらないかは各地域の判断だが、つくられたとしたら、その上位に位置するのは、この女性協議会となるのではないか。コミュニティセンター化することで、女性協議会の在り方も変わってくるのでは。

(美川地域の現状)

まちづくり協議会の各部会に女性の会も参加している。また、女性協議会としても、地域の様々な行事に関わっている。

(鶴来地域の現状)

鶴来地域にはもともと「つるぎまちづくり協議会」が存在しており、その中には女性協議会だけではなく、消防団などいろいろな団体が初めから所属しているが、コミュニティセンター化に向けて、また新たに協議会を立ち上げようとしている。

(吉野谷地域の現状)

まちづくり協議会の立ち上げまで完了し、その中には女性の会や子供会も入っている。市が防災・福祉を推奨しているので、これまで入っていなかった消防団や民生委員などにも運営審議会に入ってもらい、協議を進めているところ。

備 考	
-----	--